

31. ペーパークロマトグラフィによる樹脂加工剤 の鑑別

実践女子大 酒井 豊子

1. 布地に加工された樹脂の種類をペーパークロマトグラフィにより鑑別する方法の研究

2. まず尿素系，メラミン系，リアクタント系樹脂の各々について，展開剤としてブタノール・エタノール・水混合液，発色剤としてトーレンス試薬を用いて，上昇法により試験し，溶液の塗布法その他操作上の問題につき検討しつつ各樹脂の特徴的 Rf 値を調べ，次にこれら三種の樹脂を種々に配合したものにつき試験し，各成分が識別できることを確かめ，更に市販樹脂加工布より塩酸を用いて抽出した液について試験し，得られたいくつかの Rf 値より加工樹脂の種類を判断する。

3. 以上の結果加工樹脂剤の鑑別がペーパークロマトグラフィによと比較的簡単にできることがわかった。加工布より試験液を抽出するには $1/10N$ 塩酸 20cc に試験布 5 g を細かく切って入れ， $90^{\circ}C$ で 1 時間抽出し，これを煮つめて試験液とする。濾紙への塗布は約 0.006cc を直径 0.6~0.7cm の点状に塗布するのがよい。市販加工布はメラミン樹脂，またはメラミン樹脂と尿素樹脂の混合処理されたものが多いことがわかった。